

## 2019年度 看護学校関係者評価 結果

1. 学校関係者評価委員  
実習病院看護部長  
実習病院専任実習指導教員
2. 評価方法  
書類審査（今年度限り）
3. 評価日  
令和2年6月11日～6月19日
4. 評価内容  
2019年度 学校運営方針取り組み実施状況
5. 評価資料
  - 1) 2019年度 学校運営方針 自己評価書（4段階評価）
    - 4：大いに達成できている（大いに成果が見られる）
    - 3：達成できている（成果が見られる）
    - 2：あまり達成できていない（あまり成果が見られていない）
    - 1：まったく達成できていない（全く成果が見られていない）
  - 2) 学生のカリキュラムに関する満足度
6. 自己評価及び評価結果  
看護学校スローガン：主体的に行動し地域医療に貢献できる人材の育成

### 1) 主体的な学習習慣を促進する学習環境の充実・整備

評価項目（運営目標）	自己評価
1) 学生が主体的に学習できる授業の工夫（学科・実習・教科外活動）	2.9
2) 学生個々が学び、成長できる体制づくり 縦割り教育 チューター制	2.8
3) 学生が主体的に学習できるよう教材・教具・図書・情報科学室・実習室を整える。	3.0
4) 学科・実習委員会を計画的に運営し、教員全体が組織的・効果的に情報交換できる体制づくり	3.1
5) 各学校評価【自己点検自己評価 学生による評価（カリキュラム・授業・実習・教科外 卒業時の満足度）】の結果を次年度に活かせるよう評価システムを整える。	2.6
<p>総評 学生が主体的に学習できるようチューター制や縦割り教育を取り入れておられ、努力している様子が伺える。今後は成果が得られるよう引き続き継続してほしい。1年時からの学習への動機付けとして、チューター内で学年を超えての交流会を行うなど、学生同士で相談・解決できる場を提供するのもよいのではないかな。</p>	

### 2) 機構および地域へ貢献できる看護職員の育成

評価項目（運営目標）	自己評価
1) 浜田医療センターをはじめとする地域の医療・看護に興味関心が持てるよう、地域に密着した教育の充実	3.5
2) 看護部、実習指導者と連携し指導体制の整備と実習指導の質向上をはかる。	3.1
3) 1年次から一貫した国家試験対策の計画的な実施	3.0
4) 浜田医療センターをはじめとする国立病院機構、または県内に貢献できる看護職員を育成する。 母体病院 目標：54%以上 NHO：目標：70%以上 県内 目標：80%以上	3.1

総評 国家試験 100%を目指した教育方法を今後も検討していく必要がある。島根県内の就職率は高く、地域に貢献できる人材育成に貢献している。島根県西部の看護師不足は課題であり母体病院への就職も同様である。教科外活動で取り組まれた、浜田市の地域包括ケアを担う保健・医療・福祉分野の職員と学生との交流会は大変良い取り組みだと思う。今後も地域に密着した教育を取り入れ、地域の看護を担う看護師の教育の充実に努めてほしい。そうすることが地域医療を担う看護師の質と量の確保につながるのではないかと。また、臨地実習以外で看護師と学生が交流できる機会を持つなどし、母体病院や看護の魅力伝えるPR活動をもう少し取り入れることも必要ではないか。

### 3) 学ぶ意欲のある学生の確保

評価項目 (運営目標)	自己評価
1) 効果的な学校のPR活動、募集活動による学生の確保	2.7
2) ホームページ、広報誌による情報発信の充実	2.8
3) 教員の専門性を活かした地域への貢献	2.8
<p>総評 学生の募集、オープンスクールの案内、学校祭の開催案内、学生が取り組んでいることの紹介(自治会活動)は学校情報誌やHPで行っている。今後は現在取り組んでおられる内容についてケーブルテレビを活用してPRするなどの取り組みも必要ではないか。また、PRする対象の範囲を見直し開拓する取り組みも必要ではないか。浜田市においては特に少子化で18歳人口が減少し、若者の都会への流出が進んでいる。そのような状況下で地域の医療を担うべく地元の看護学校を選び入学する学生や、浜田市外から入学する学生の存在は貴重だと思う。今後は生活しやすい環境(下宿先や経済面)を整えたり、歓迎ムードを高めたりする浜田市との連携・支援も必要ではないか。</p>	

### 4) 教員の質の向上と職員がやりがいをもって働けるワークライフバランスの促進

評価項目 (運営目標)	自己評価
1) 看護教育の質向上のために研究活動、自己研鑽がしやすい環境をつくる	2.9
2) 各自のテーマに基づいた研究成果の発表	2.9
3) 業務内容を見える化し業務の効率化をはかり働きやすい環境をつくる	3.0
<p>総評 教員個々に教育の質を向上させるための努力はされていると思う。業務マニュアルを作成することによって、今までの業務を見直す機会となり、業務の効率化を図り効果的な業務の遂行ができることを期待できる。働きやすい職場づくりのために今後も継続してほしい。</p>	